

東日本大震災から 4 年

○本日をもって、平成 26 年度の課程が修了しますが、3 月になるとやはり東日本大震災、そしてそれに続く原子力発電所事故のことが強く心に蘇ってまいります。今年で、4 年目を迎えましたが、改めて、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

また、報道によりますと、現在でも 23 万人が避難生活を送り、そのうち 8 万人以上がプレハブ仮設住宅での暮らしが続いています。今なお傷の癒えない被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

皆さんが小学校 6 年生、中学校 1 年生の終わりの時の出来事でしたが、本県にも大きな傷跡を残しました。この中にも何らかの形で困難を引きずっている人もいるかもしれません。一日も早い復旧・回復をお祈りいたします。

○この震災は、被災地への想いととも、自分自身の生活や社会の有りようなどについて、私たちの意識を大きく揺さぶる出来事ともなりました。

連日、悲しいこと、つらいこと、勇気づけられることなどが報道されておりましたが、今日は、そのような中から、私の記憶に残ったひとつのエピソードを紹介したいと思います。

○皆さんは女優の田中好子さん（キャンディーズのスーちゃん）を知っていますか。年令は、私より 2 つ上で、私が高校生のときに、アイドルグループで大人気を博した歌手でした。今で言えば、パヒュームか AKB みたいなものでしょうか。

5 年ほどで人気のうちに解散しますが、田中さんはしばらくして女優として復帰します。特に気になる女優さんということはありませんでしたが、2010 年の 10 月（震災の半年ほど前）NHK「手のひらのメモ」というドラマをたまたま見て、その素晴らしい演技に「アイドルだったスーちゃんも素晴らしい女優になっていたんだ」とファンになりました。

しかし、これが遺作となりました。後で知りましたが、19 年間ガンを患っており、震災の直後 2011 年 4 月に亡くなります。もう長くは生きられないと自覚していた田中さんは、自分の告別式に集まってくれた人のために、死を迎える前に病床でメッセージを録音していました。

○告別式では、苦しそうな声で、録音が流れます。ユーチューブ動画から、その一部を再現して紹介します。

『こんにちは、田中好子です。きょうは 3 月 29 日東日本大震災から 2 週間経ちました。

被災された皆様のことを思うと心が破裂するような、破裂するように痛み、ただただ、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするばかりです。

私も一生懸命病氣と闘ってきましたが、もしかすると負けてしまうかもしれません。でもその時は必ず天国で被災された方のお役に立ちたいと思います。それが私のつとめと思っています。

今日お集まりいただいたみなさまにお礼を伝えたくて、このテープを託します……』
そしてこの後、ファンや仲間への感謝の気持ちを述べて、もっとお礼を伝えたいのが苦しくなってきたのだと、話を終えています。

○自分が生きるか死ぬかという状態でも、何とかして役に立ちたいという被災者を思いやる気持ちに、とても心を打たれました。そして、その頃は日本全体が、そういう気持ちで溢れていたように思います。

震災から4年経って、報道はめっきり減って、東京オリンピックといった明るい話題も出てきました。「風化」などという言葉も聞かれるようになってきましたが、私たちは、「自分にできることは何か」ということを忘れないようにしたいものです。

今年度を振り返って

○次に2つ目のお話として、修業式ですので、本年度を振り返ってみたいと思います。

まず様々な充実した行事が思い浮かびます。東陵祭、球技大会、遠足や修学旅行。合唱コンクールもたくさん練習をして、クラスがまとまる機会になったと思います。校外では、鹿沼のお祭り、4校合同文化祭、市民音楽祭、老人ホームへの訪問、ねりんピックやさつき展への協力など、地域への貢献活動もたくさんあり、本校への地域の期待や評価を益々高めてくれました。

○部活動では、国際大会、全国、関東等へ出場した弓道部、放送部、陸上部の活躍が目立ちました。サッカー、剣道もベスト8まで進みました。大会で思ったような結果が得られなかった部であっても、活動を通して大きな達成感を得つつ、人格的にも成長する場となっています。今後とも、各部の目標に向かって励んでいただきたいと思います。

○卒業した3年生の進路関係にも、頑張りが見られました。進学の内訳は集計中ですが、一つの目安の数字として、国公立大学に41名が合格しました。6クラスになってからは最多で、創立以来でも過去2番目となります。また、就職者も6名、うち4名が公務員試験に合格しました。2年生の皆さんも先輩に続いていただきたいと思います。

○次に、普段の学習面について、見てみます。

11月に、学習アンケートを行いました。

まず、学習意欲については、1、2年生の7割強が「かなりある」、「まあまあある」と答えています。ほぼ前年並みです。3年生になるとさらに10%ほど増えます。この中で、「かなりある」に限ると、1年生が4%、2年生が8%、3年生になると31%で、3年生は前年度比プラス11ポイントであり、かなり意識の高い生徒が多かったことが分かります。

次に、朝読、朝学への取組状況ですが、積極的に取り組んでいると答えた割合は、1年生が76%、2年生が71%で、3年生の67%より頑張っています。先ほど多読賞の表彰があり、相当読書をしている人もいます。読書により、語彙が増え、抽象的な思考力が高まり、学力も高まっていくという効果も期待されますが、これは一朝一夕に培われるものでもありません。あまり本を読まない人は、自分の興味のもてるものから、朝読や隙間時間を活用して、読む習慣をつけるとよいと思います。

授業でわからないことを誰に聞くかという問いには、全学年で、先生に聞くがおよそ3割、友達に聞くが5～6割で、友達との学び合いを活用している様子が窺われます。自由記述にも「ペア学習やグループ学習で意見交換、相談、教え合うことは楽しいし、理解も深まる」という声がありました。家で一人で勉強するのではなく、学校でクラスなどの集団をつくって学んでいるという意義は、まさにここに 있습니다。友達と気持ちで支え合う、教え合って確かめ理解を深めていくということができるのは学校ならではの。来年もぜひ友達同士での学びを大切にしてください。

○また、気になることもあります。

家庭学習時間の調査を年3回やっていますが、1年生は、調査のたびに学習時間（平均）が減っています。2年生はさすがに、回を追うごとに時間を伸ばしています。しかし、昨年度の同じ学年と比較すると、平日の平均値で1年生が約15分、2年生が約20分少なくなっています。先週の進路ガイダンスで、卒業生が体験談を語ってくれましたが、平日5時間、休日は十数時間やっていたという話が普通に出てきていました。いきなりそれに習おうとしても無理がありますが、特に3年生は、本気モードにシフトする時です。心してやる必要があります。

もっとも勉強ばかりでは気持ちが続きませんから、生活のバランスは必要です。その中でやると決めたことをきちんと継続すること。時間を有効に使うためには、学習の質がとても大切です。予習なのか復習なのか、問題演習なのか、自分の理解内容を書くようにするのか、教科ごとに勉強の方法をよく点検してください。

次年度に向けて

○3つ目の話として、4月からの来年度のことを少し考えてみたいと思います。

詳しくは、始業式でお話するつもりですが、来年度は、生徒指標にある「自主自律」ということを意識してもらえると良いと思っています。

○本校の皆さんは、実に素直に、私たち教師の指導を受け入れて、一生懸命取り組んでくれています。それが、本校の良さでもあります。しかし、卒業して自立（立つ自立）していかなければならないことを考えたときに、自分で考えて自分でやってみるという力をつけることはとても大切なことです。また、学力を高めるのにも大事な要素でもあります。

自主性、自律性を高めるには、どうしたらよいと思いますか。

一つの方法として、周りに目を向ける、気を使う、周りを思いやることから始めると良いのではないかと思います。どうして、そんなことが関係あるのかと思うかもしれませんが、私は、自立と他者への思いやり、気配りは、深い関係があると思っています。

○幼児は、大抵自分のことしか考えません。自分のことで精一杯だからです。そのような状態が自立とかけ離れているのは納得してもらえそうですね。それが周りに注意が働くようになっていくと、周りのことも自分のこととして考えられるように意識の範囲が広がります。すると、自分にとってどうしたらよいか、どう行動すればよいか、それ

までより広い視点に立って見えるようになる。それが、人としての成長であり、真の自立に近づくことではないかと思うのです。ですから、高校生や大人になっても自分のことだけしか考えず、他人に自分の都合の良いように動いてもらうことしか考えない人は、社会性は幼児レベルから成長していないということです。

一般的には、自立してから他者貢献という流れで言われますが、私は、自立と貢献は双方向で鍛えられるものと思っています。

○そこで、春休みの宿題を出しておきます。

来年度皆さんは「周りに対して何をやるか、自分に対して何をやるか」ということを考えてきてください。周りに対しては、人だけでなく、物に対してでもかまいません。要するに、自分の外界に対してです。掃除をクラスで一番丁寧にやるでも何でも結構です。学校だけでなく、家族に対してでもあります。

自分に対しては、既に考えている人もいます。しかし、できるだけ具体的に考えてください。勉強を頑張る、部活を頑張るだけではなくて、毎日、自分のために何をやり続けるのかという具体的なレベルで考えてくれると良いと思います。

○去年は、自分のミッションは何かということを問いまして、卒業した3年生が、始業式で答えてくれましたね。彼も進学が決まり、一步步自分の夢に近づいていることと思います。

では、必ず始業式で聞きますから、自分のこととして考えておいてください。お願いします。

○最後に、本日は、修業式という節目です。

これを、ひとつの大きな区切り＝節目ととらえて過ごすのと、漫然と授業のないただの一日として過ごすのでは大きな違いがあります。

子どもの頃、地震が来たら竹藪に逃げろと言われてましたが、竹はとても強い木です。地中に広く根を張っていて滅多なことでは倒れない。また、強い節をたくさん持っているので、ただの空洞とは比べ物にならないほど強い訳です。

私たち人間にも節はとても大切です。目には見えないけれども、1、2、3学年の間に、そして学期の間にも節があります。

「この1年間にいろんな面できちんと締めくくろう」という意識と、「来年はこうする」という強い決意が、強い節を作ります。この春休み、あわただしく過ぎると思いますが、数えると14日間あります。1年52週間のうちの2週にあたります。大切に過ごしてください(※)。

※節目の話は、平光雄「道徳の話」知致出版社(2014)をもとにしています。